

プレスリリース

報道関係各位

アルジェニクスジャパン株式会社

2025 年 4 月 24 日

代表取締役社長交代のお知らせ

アルジェニクスジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：ヘルマン・ストレンガー）は、2025 年 6 月 1 日付で、後藤 太郎が代表取締役社長に就任することになりましたのでお知らせいたします。ヘルマン・ストレンガーは同年 5 月 31 日付で代表取締役社長を退任し、当面の間、後藤への引き継ぎを行う予定です。

後藤 太郎は、2001 年に岐阜大学医学部卒業および医師免許取得後、同大学大学院にて神経生理学を研究し、2005 年に医学博士号を取得しました。2001 年から 2008 年にかけて、岐阜大学病院などで精神科臨床に従事し、岐阜大学医学部で非常勤講師を務めました。

2008 年に日本イーライリリーに入社し、臨床開発医師、米国本社でのグローバル R&D 業務を含む多様な神経科学領域のプロジェクトに従事し、日本ではメディカル部門で要職を歴任しました。2017 年から MSD 株式会社にてエグゼクティブディレクターとしてメディカルオペレーションを統括し、2019 年にブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社に入社後、メディカル本部長や血液領域事業部長を歴任し、2022 年から血液・腫瘍領域の事業部長、執行役員兼バイスプレジデントに就任し、これまで事業活動を牽引してきました。

ヘルマン・ストレンガーは、約 30 年に渡り日本でのキャリアを持ち、様々なグローバル企業の日本法人を立ち上げてきました。アルジェニクスジャパン株式会社においても、代表取締役社長として 2019 年の会社設立を実現し、組織を構築すると共に、2022 年には当社にとって初めての製品となる「ウィフガート®点滴静注 400mg」の発売、2024 年には「ヒフデュラ®配合皮下注」の発売を成功裏に導き、事業活動を通じて、全身型重症筋無力症、慢性特発性血小板減少性紫斑病、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の患者さんの治療に、大きく貢献してまいりました。

アルジェニクスジャパン株式会社について

アルジェニクスジャパン株式会社は、ベルギー・ゲント市に本拠を置くアルジェニクス BV の日本法人です。アルジェニクスは免疫領域に特化したグローバル医薬品企業で、深刻な自己免疫疾患に苦しむ人々の生活の向上に貢献することに取り組んでいます。独自の免疫学イノベーションプログラム（IIP）を介して主要な学術研究者らと協業し、免疫学領域における画期的な発見から世界的な新規抗体医薬品ポートフォリオを生み出しています。

アルジェニクスは、米国、日本、イスラエル、EU、英国、カナダ、スイス、中国等で初めて承認された抗 FcRn 抗体フラグメント製剤を開発および販売して参りました。当社は更に、多くの重篤な自己免疫疾患に対してエフガルチギモドを評価していることに加え、注力している治療領域で、複数の早期の研究開発を進めております。

アルジェニクスジャパンの詳細については、www.argenx.jp をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

アルジェニクス ジャパン株式会社 広報担当

TEL :080-2233-2337 E-mail : jp.communication@argenx.com

※本プレスリリースは、国内の報道関係者の方々を対象に、アルジェニクスの企業活動に関する情報を提供しています。一般の方に対する情報提供を目的としたものではありませんのでご了承ください。また、本プレスリリースには、医療用医薬品や開発品の情報を含みますが、これらは医療用医薬品や開発品のプロモーションや広告を目的とするものではありません。